

生物多様性シンポジウム



定着化する外来種
「セイヨウオオマルハナバチ」
その現状と防除について考える

平成27年

10月17日土

14:00～16:30 (開場は13:30)

場所 札幌アスペンホテル 2階 アスペンA
〒060-0808 札幌市北区北8条西4丁目5番地



プログラム

基調講演 世界に誇る市民科学
『セイヨウオオマルハナバチモニタリング』
中央大学工学部人間総合理工学科 教授 鷲谷 いづみ氏

事例発表 道内各地の市民による
セイヨウオオマルハナバチ防除の取り組みについて

定員 100名 (先着順・要申し込み ※申し込みについては裏面をご覧ください)

主催 北海道セイヨウオオマルハナバチ対策推進協議会

後援 環境省北海道地方環境事務所

参加費
無料

セイヨウオオマルハナバチは、本来北海道には生息していないマルハナバチです。温室でのトマトなどの授粉につかうため人為的に持ち込まれ、その一部が逃げ出し、野生化してしまいました。1996年以降、その数は急激に増加しており、現在では、身の回りでもっとも普通にみられるマルハナバチがセイヨウ、という地域も少なくありません。

この度は、北海道のセイヨウオオマルハナバチ対策に市民と共に取り組んできた鷺谷先生を

お招きし、セイヨウの現状、そしてその防除に向けた市民が果たしうる役割についてお話しいただきます。また、道内各地においてセイヨウ防除活動に取り組む皆様より、活動の背景やその現状などをご紹介いただきます。

いったん侵入を許してしまうとその対策が難しい外来種対策ですが、私たち市民が力を合わせてその防除のために何ができるか、またその可能性について、皆さんと一緒に考える機会としたいと思います。

プログラム

基調講演 世界に誇る市民科学『セイヨウオオマルハナバチモニタリング』

中央大学理工学部人間総合理工学科 教授 鷺谷 いづみ氏

東京都出身。東京大学理学部卒業、東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。筑波大学生物科学系講師、助教授、東京大学大学院農学生命科学研究科教授を経て、2015年から現職。専門は生態学、保全生態学で、現在は生物多様性と自然再生に係わる幅広いテーマの研究に取り組んでいる。



事例発表 道内各地の市民によるセイヨウオオマルハナバチ防除の取り組みについて

近年の大雪山麓域におけるマルハナバチの現状と当会の活動について
大雪山マルハナバチ市民ネットワーク 戸島 あかね氏

私たちにもできる湿原生態系の保全活動
雨竜沼湿原を愛する会 佐々木 純一氏

野付半島のセイヨウ事情 ～希少種と外来種～
野付半島ネイチャーセンター 石下 亜衣紗氏

申し込み について

お電話、FAXまたE-mailで、以下窓口宛てに、お名前・ご連絡先電話番号をお知らせください。
参加申込窓口：公益財団法人北海道環境財団

TEL 011-218-7811 FAX 011-218-7812 E-mail ampo@heco-spc.or.jp

主催 北海道セイヨウオオマルハナバチ対策推進協議会 後援 環境省北海道地方環境事務所

北海道セイヨウオオマルハナバチ
対策推進協議会とは

セイヨウオオマルハナバチの防除の取り組みを強化し、市民の参加のもと全道における駆除活動の活性化及び拡大に向けて活動しています。

構成員

北海道、札幌市、石狩市、黒松内町、株式会社アレフ、公益財団法人北海道環境財団、HoBiCC(北海道生物多様性保全活動連携支援センター)